卷耳（けんじ）

采采卷耳（さいさいけんじ）
不盈頃筐（けいきょうにみたず）
嗟我懷人（ああわれひとをおもい）
寘彼周行（かのしゅうこうにおく）

陟彼崔嵬（かのさいかいにのぼれば）
我馬虺隤（わがうまかいたいたり）
我姑酌彼金罍（われしばらくかのきんらいをくみて）
維以不永懷（ここにもってながくおもわざらん）

陟彼高岡（かのこうこうにのぼれば）
我馬玄黃（わがうまげんおうたり）
我姑酌彼兕觥（われしばらくかのじこうをくみて）
維以不永傷（ここをもってながくいたまざらん）

陟彼砠矣（かのしょにのぼれば）
我馬瘏矣（わがうまやみぬ）
我僕痡矣（わがしもべやみぬ）
云何吁矣（いかにうれいをいわんや）

繁蔞草採れども採れども（はこべぐさ）
籠はいっぱいにならない
あぁ　あの人を想いつつ
道の辺に籠を置く　（ここを通ったあの人に献げよう）

あの険しい山に登れば　（あの人のいる所が見えるだろうか）
私の馬は息絶え絶え
しばらく金杯に酒を酌（く）み
尽きない憂いを忘れようか

あの高い岡に登れば　（あの人のいる所が見えるだろうか）
私の馬はぐったりしている
しばらく角盃（つのさかずき）に酒を酌み
尽きぬ痛みを忘れよう

あの高い岩山に登れば　（あの人のいる所が見えるだろうか）
私の馬は疲れ果て
私のお供も病人のよう
この悲しみをどうすればいいのか